

北アルプス地域 ～「人」と「食」がつながる北アルプス山麓の農業農村～

■達成指標

重点 取組	達成指標	現状 (2021(R3)年)	(2024(R6)年)		目標 (2027(R9)年)
			計画	実績	
1	中核的経営体数	423 経営体	460 経営体	集計中	500 経営体
	新規就農者数(49歳以下)	4人/年	6人/年	6人/年	6人/年
2	大規模水稻経営体におけるスマート農業技術導入率	38%	48%	63.8%	57%
	機械収穫適性に優れた大豆品種「すずみのり」の栽培面積	5ha	100ha	80ha	100ha
	信州の環境にやさしい農産物認証制度取得面積・認定件数	156.1ha 44件	160.0ha 45件	105.1ha 36件	170.0ha 49件
	稼ぐ産地を支える基盤整備(区画拡大等)の実施面積(累積)	27.0ha	37.2ha	37.2ha	82.0ha
3	高収益作物の導入を可能にする農地の整備面積(累積)	3.1ha	5.4ha	5.4ha	13.0ha
4	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持発揮するための活動面積(多面的機能支払+中山間直払)	4,122ha	4,202ha	4,238ha	4,202ha
	農業用水を活用した小水力発電施設の設置箇所数	1か所	1か所	0か所	2か所
5	北アルプス山麓ブランド認定品目数	123品	136品	139品	140品
6	学校給食における県産食材の利用割合(品目ベース)	47%	45%	48.0%	48%
	食農教育・農業・農村体験交流活動の実施回数	33回	30回	36回	35回

重点取組1：北アルプス地域の農業を支える担い手の確保・育成

- 北アルプス地域農業の将来像の明確化による担い手確保と農地集積の推進、人・農地プランの法定化に伴う「地域計画」の策定を推進
 - ・市町村工程表に沿った、現地支援チームによる進捗支援(4月～3月 計50回)
- 北アルプス農業をけん引する中核的経営体の確保・育成を図るため、就農サポートと経営サポートを一元化した支援体制を構築
 - ・農業経営者総合サポート事業による経営改善支援(2経営体)
- 新規就農者の確保・育成と、支え手として多様な人材の確保
 - ・新規参入希望者、親元就農者に対する就農支援(相談14名)
 - ・里親農業者の新規登録支援(2名：水稻1名、果樹1名)
 - ・里親研修修了者の技術力・経営力の向上支援
 - (就農5年以下1名：月1回巡回)
 - ・農福連携事例の周知と、福祉事業所(3か所)と農業者(2者)のマッチング支援(果樹、野菜作業)



【地域計画策定の様子】



【就農相談会 11月】

重点取組2：新技術の活用、持続可能な生産、稼ぐ産地を支える基盤整備の推進

- 高密度播種育苗・精密田植え技術など新技術を活用した低コスト・省力稲作の推進及びスマート農業技術の活用による生産の効率化

【自動運転コンバイン実演会9月】



- ・低コスト・省力稲作新技術の導入実証
水稲直は現地試験（3か所 5～10月（大町市、池田町））
- ・スマート農業技術によるコスト低減実証
可変施肥田植え試験実施（2か所（大町市））
- **環境負荷を低減した持続的な農業（有機農業など）の面的拡大を推進**
 - ・環境認証制度等の活用促進（新規及び再認定に向けた個別相談随時）（36件、105.1ha）
- **中核的経営体の経営安定に向けた基盤整備事業の推進及び導入品目の生産安定等を支援**
 - ・担い手の規模拡大を支援する経営体育成基盤整備事業の工事着手（13.65ha）

重点取組3 マーケットニーズの高い園芸作物の産地づくり

- **りんご、ぶどう等県オリジナル品種を中心とした新植及び改植、園地更新等の推進及び品質向上に向けた技術支援を実施**
 - ・安定生産のための基本技術の励行（栽培管理講習会3回、6会場）
 - ・新規栽培者への基本技術取得支援（ぶどうセミナー開催7回）
- **水田への収益性の高い新たな品目導入のために、必要な機械等の導入に向けた補助事業等の活用支援**
 - ・収益性の高い新たな品目における作業の効率化を図るための作業機の現地実証（4経営体 白ねぎ及びジュース用トマト）



【ぶどうセミナー（剪定）2月】

重点取組4：暮らしの場としての農村の振興

- **多面的機能を維持するため、地域住民を主体に企業との連携による地域ぐるみの協働活動のほか、住民主体で行う野生鳥獣被害防止対策の取組支援**
(5協議会、侵入防止柵設置(9,516m)等)
- **農村型の地域運営組織の組織化による農村コミュニティの維持**
 - ・先進事例の研修会等による地域組織への制度周知等（1回、11月）

重点取組5：北アルプス山麓ブランド等を活用した地域振興

- **気象条件や立地条件など北アルプス山麓の特色を活かし生産された農畜産物や加工品を「北アルプス山麓ブランド」として認定**
 - ・新たな地域特産品の北アルプス山麓ブランド品としての認定（新規6品、再認定27品）
- **北アルプス山麓ブランド認定事業者に対する輸出に向けた支援の実施**
 - ・北アルプス山麓農畜産物ブランド運営委員会と連携し、台湾向け輸出に係る事業者とバイヤー間の調整を実施（4回（4～1月））
- **観光業者と連携した販売促進の実施**
 - ・台湾への輸出、販売定着に向け物産展の開催（5/31～6/2 台中市「裕毛屋」）
 - ・国内での販売促進、PRのために物産展を開催（9/7 松本市 駅前、9/11 名古屋市 中日ビル）



【北アルプス山麓物産展 in 台湾 10月及び販売促進PR】

重点取組6：多彩な農村資源を活用した食の地産地消と食育の推進

- **学校給食等給食事業者が求める農産物の生産組織の育成と供給体制の整備**
 - ・推進会議の開催支援（3回（5～7月）、校長及び栄養教諭等）
 - ・農村生活マイスターを核とした食材提供用農畜産物の栽培技術支援（小谷村 指導1回 5月）
- **農村生活マイスター等を核とし、栄養教諭等と連携した児童・生徒への食育活動による次世代への食文化の継承**
 - ・北アルプス山麓おむすびプロジェクトと連携し、農業や農産物等の学習を行っている学校（学級）に対し地元食材を提供し、食育活動を支援
(10/22:白馬南小学校、11/8:大町中学校、11/25・12/12:白馬北小学校)
- **観光と連携した学習旅行等の受け入れ、収穫体験等の充実**
 - ・地域食材活用学習会（9/4,77名、小谷村）



【北アルプス山麓おむすびプロジェクト
白馬北小学校(上)、大町中学校(下)】